

**第1回 生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会  
議事録**

1. 日 時：平成27年7月16日 15:00～17:00

2. 場 所：一般社団法人 日本自動認識システム協会（J A I S A） B会議室

3. 次 第：

- |                     |       |         |
|---------------------|-------|---------|
| 1. 開会の挨拶            | 事務局   | 15:00 ～ |
| 2. 配布資料の確認          | 事務局   | 15:01 ～ |
| 3. 議事               | 半谷委員長 |         |
| 1) 委員長挨拶            | 半谷委員長 | 15:05 ～ |
| 2) 委員自己紹介           | 各委員   | 15:06 ～ |
| 3) 本年度事業計画概要説明      | 事務局   | 15:15～  |
| 4) 委託調査計画と見積り依頼について | 事務局   | 16:00～  |
| 5. 事務連絡             | 事務局   | 16:50 ～ |
| 1) 今後の日程            |       |         |
| 2) 写真撮影など           |       |         |

4. 出席者：(敬称略)

[委員]

- 半谷精一郎 東京理科大学
- × 寶木和夫 国立研究開発法人産業技術合研究所
- 吉田稔 西宮市情報センター
- 南晴久 西宮市情報センター
- × 清水光俊 川口市
- 村上秀一 株式会社日立製作所
- 齋藤雄一郎 富士通株式会社
- 塙俊浩 日本電気株式会社
- × 中村敏男 株式会社OKI ソフトウェア
- × 平岡良彦 セコム株式会社
- 鷺宏行 株式会社NTTデータ
- 平野誠治 凸版印刷(株)

[オブザーバ]

- × 高田直幸 セコム株式会社
- × 山田徳幸 日本電気株式会社

- × 齋藤訓 株式会社日立システムズ
- × 加藤誠司 経済産業省
- × 中山和泉 経済産業省
- 上出和明 株式会社 NTT データ・エム・シー・エス
- 野口武彦 株式会社 NTT データ・エム・シー・エス

[事務局]

- 酒井康夫 (一社)日本自動認識システム協会
- 山口理津子 (一社)日本自動認識システム協会

## 5. 配布資料

- 資料1: 第1回生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会アジェンダ
- 資料2: 平成27年度生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会名簿
- 資料3: 平成27年度以降の事業計画概要
- 資料4: 生体認証活用被災者支援システムの研究開発について
- 資料5: 平成27年度委託調査(被災者支援システム側)見積依頼書
- 資料6: 平成27年度委託調査(被災者支援システムとの連携および生体認証側)見積依頼書

## 6. 議事内容

### 1) 開会の挨拶

(一社)日本自動認識システム協会(JAISA)事務局より、昨年度に引き続き今年度もJKAの補助金を受けて事業を実施することになったことと、委員会を開催する旨、挨拶があった。

### 2) 委員長挨拶および委員自己紹介

半谷委員長より、みなさんのご協力を経て進めていきたいとのご挨拶をいただいた。また資料2の委員名簿を用いて、各委員より自己紹介があった。今回、オブザーバ候補として、株式会社NTTデータ・エム・シー・エスより上出様、野口様にご出席いただいた。

### 3) 本年度事業計画概要説明

事務局より、資料3は、財団法人JKAに提出した事業計画である旨の説明があった。(詳しくは、資料3を参照のこと)

資料4を用いて、事業の概要と平成26年度の成果、平成27年度の事業予定についての説明があった。(詳しくは、資料4を参照のこと)

<資料修正>

- ・24～26ページの表題、平成26年度を平成27年度に修正する。
- ・25ページ(2)、26ページ(3)の調査およびプログラムの開発の用件に関わる点を追記する。

<コメント・検討事項>

- ・ひとつのメーカーに左右されないよう調査委託をされたベンダの製品だけでなく、それ以外のベンダともヒアリングや調査をしていく。委託調査の中で作業部会を開催して実施することが考えられる。
- ・被災者支援システムの次のバージョンでオプション機能として生体認証システムと連携できる旨を謳う。
- ・17ページの図のOpenID Providerの部分の個人コード=マイナンバーという考え方もできるが、検討が必要。
- ・18ページの図で、多くの自治体の被災者台帳と避難行動要支援者の台帳は繋がっていない。避難行動要支援者は福祉が行い、被災者台帳は防災危機管理が行うため、そこをマイナンバーで繋がるように検討する。
- ・バイオメトリックデータとマイナンバーはセキュリティ上分断させる。
- ・クラウド認証について検討する。
- ・生体認証被災者支援システムと、生体認証側それぞれの委託調査の中で作業部会を開催し、相互に連携しながら検討する。

4) 委託調査計画と見積り依頼について

資料5、6を用いて、事務局より説明があった。(詳しくは、資料5、6を参照のこと)  
被災者支援システム側の見積りについては、1社から回答がありJAISA内で検討中。  
連携および生体認証側の見積りの回答は、辞退が4社、2社から回答があり、JAISAの中で検討中。決定は、次回に報告する。

5) 次回以降の予定等 (仮)

- ・第2回委員会： 9月29 (火) 13:00～15:00
- ・第3回委員会： 12月中旬
- ・第4回委員会：平成28年3月上旬

以上